

各圃場の幼穂長を確認(診断)して、 穂肥を適期に施用しましょう。

- ・ 早生の幼穂が確認されはじめています。早生の穂肥は遅れないように施用しましょう。
- ・ コシヒカリの1回目穂肥は遅め控えめに施用し、2回目重点の穂肥を行いましょ。
- （2回の窒素成分の合計は3kg/10a以内）
- ・ **品種・ほ場ごとの生育差が大きい**ので、穂肥の施用前には、必ず幼穂長を確認しましょう。
- ・ 中干し終了後は、飽水管理を徹底してください。

1 水稻生育状況(7月9日現在) 草丈：並、茎数：多め、葉数：指標値並、葉色：濃いめ

品 種	場 所	移植	草 丈(cm)			茎 数(本/m ²)			葉 数(葉)			葉 色 (SPAD)		
			本年値	前年比	指標値比	本年値	前年比	指標値比	本年値	前年差	指標値差	本年値	前年差	指標値差
コシヒカリ	三条市	5/10	64	100	99	473	117	103	10.7	-0.1	-0.2	39.8	+1.6	+3.8
各地域の生育状況については地域の情報でご確認ください。														

2 幼穂形成期・出穂期の予想と穂肥施用のめやす (注：稚苗5/6植で予想)

品 種 名	幼穂形成期	出穂期	1回目穂肥			2回目穂肥		
			出穂前日数	施用時期	窒素量(kg/10a)	出穂前日数	施用時期	窒素量(kg/10a)
ゆきん子舞	7/3	7/26				14	7/12	1~1.5
こしいぶき	7/4	7/27				14	7/13	1.5
わたぼうし	7/2	7/25				12~10	7/13~7/15	1~1.5
五百万石	7/2	7/25				12	7/13	0.5~1
コシヒカリ	5/6植	7/12	18~15	7/16~7/19	0.5~1.0	10	7/24	1.5~2.0 ☆穂肥の合計窒素成分量は3kg/10a以内
	5/10植	7/15		7/18~7/21			7/26	
こがねもち	7/8	7/31	18~15	7/13~7/16	1~1.5	10	7/21	1~1.5

☆ 気象状況によっては予想日が変わります。今後の情報にご注意下さい。

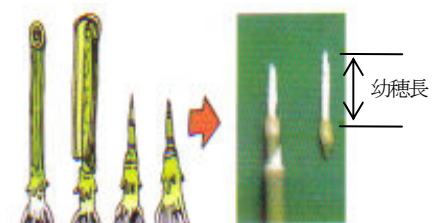
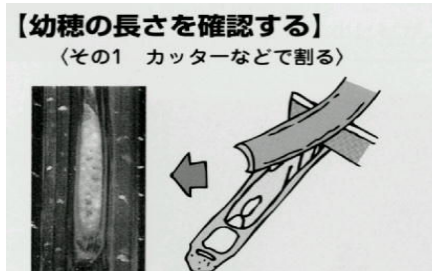
ほ場間差が大きいので、穂肥の施用前には、

必ず幼穂長を確認しましょう

【幼穂長による出穂前日数のめやす】

幼穂長 (cm)	0.02	0.1	0.13	0.2	0.5~1.0	4.0~6.0
出穂前日数 (日)	30	24	23	20	18	12

↑
コシヒカリ1回目施用時期



3 カメムシ対策(草刈り)、中干し後の

水管理(飽水管理)の徹底

- 今年の斑点米カメムシ類の発生時期は平年並～やや早く、発生量もやや多めです。畦畔等の雑草が結実しない間隔で草刈りを徹底しましょう。
- 幼穂形成期頃は水が最も必要です。中干し後の飽水管理を徹底しましょう。